

教 科
国語

種 目
国語

## 意見書

発行者
学校図書

	着眼点	意 見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実にかつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最初に重点とする指導内容が2つずつ取り上げられ、焦点化した学習になるよう配慮されている。</li> <li>・「国語のカギ」として、つきたい力が明確に示されていて、巻末にはその教科書で大切になった「カギ」がまとめられる等工夫がされている。</li> </ul>
	(2)学年間及び学年相互の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上の各学年上巻に折り込みページを設け、それぞれの学年で育てたい3つの資質と能力を一覧で示し、1年間の見通しをもって学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・言語事項に関しては、年間を通して繰り返し学習が進められるような配置になっており、語彙が豊かになるような工夫がされている。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」に関しては、自身と教材との対話が多く取り入れられるよう工夫されている。また、「書くこと」に関しては、日常生活との関連がある内容が取り上げられ、主体的な学びにつながるよう配慮されている。</li> <li>・児童が意識しながら言語活動に取り組めるよう、学習に見通しをもたせる工夫がされている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や食事、遊び方の今昔など、児童の調べ学習に結び付く教材が採用される等工夫がされている。</li> </ul>
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードがそのページにあり、学習コンテンツを利用するタイミングがよく分かるよう配慮されている。</li> <li>・「話す・聞く」教材にあるQRコードでは、話し合いの様子を動画で見ることのできるような配慮もある。</li> </ul>
	(3)多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」領域において、ユニバーサルデザインや点字などを扱ったものが位置付いており、他学年にわたって共生社会について考えられるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
3	(1)教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、年間で上下分冊となっており、児童への身体的負担が軽減されるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年上巻では文節の切れ目で改行、また、2年生の1学期まで分かち書きが採用されており、言葉のまとまりを意識できるよう配慮されている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末にその教科書で身につけたい「国語のカギ」「授業で使う言葉」についてまとめた一覧があり、振り返りに活用できるよう配慮されている。</li> <li>・新出漢字は本文下の脚注に提示され、確認しやすいよう配慮されている。</li> </ul>

教科
国語

種目
国語

## 意見書

発行者
教育出版

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実にかつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の指導項目が各単元に反映するよう配慮されている。</li> <li>・単元のとびらを設け、児童の学習意欲が喚起される工夫や、学習内容が定着するよう、単元の目標と手引きの「ふりかえろう」が連動しており、指導項目が確実に身につくよう配慮されている。</li> </ul>
	(2)学年間及び学年相互の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した学習内容が活用でき、学びを重ねられる教材構成になるよう工夫されている。</li> <li>・発達段階に応じた系統的、螺旋的な学習になっており、着実な学力向上につながるように工夫された構成になっている。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」の明示により、児童が学習を深め、活発な言語活動を展開し、考えを形成できるようよく配慮されている。</li> <li>・「話す・聞く」領域では、ミニディベート、パネルディスカッションなど、「書く」領域では、日記、リーフレット、パンフレット、ポスターなど、児童が多様な言語活動を経験できるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとについて取材し、資料をもとに話したり聞いたりすることで児童がふるさとと関わりをもてるよう工夫された内容となっている。</li> </ul>
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびリンク」が準備され、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができ、児童を発展的・補助的に学習サポートできるように、よく配慮されている。</li> </ul>
	(3)多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年「話す・聞く」領域で共生社会を扱う教材が配置されており、仲間と話し合いながら考えを深められるように配慮されている。</li> <li>・全学年「言葉」の単元で、自分の気持ちや考えを伝える力を育む教材が配置されており、コミュニケーション能力向上について配慮されている。</li> </ul>
3	(1)教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年上下分冊で、児童への身体的負担が軽減されるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントが使用され、紙面に余裕があるため、児童が見やすく学びやすいよう配慮されている。</li> <li>・前学年に学習した漢字を使った文作りを通して、既習漢字が確実に身につくよう配慮されている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここが大事」「ふりかえろう」が位置づき、児童に基礎的、基本的な内容が確実に身につくよう配慮されている。</li> </ul>

教 科
国 語

種 目
国 語

## 意見書

発行者
光村図書

	着眼点	意 見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実かつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で学習する各領域が平均的かつ、9年間の系統を踏まえて扱われており、よく配慮された構成になっている。</li> <li>・単元で付きたい力を明記し、学習過程において、「とらえよう」で見通しをもたせたり、「広げよう」で学習の振り返りや他教科への活用・発展として位置付けられたりしている点がよく工夫されている。</li> </ul>
	(2)学年間及び学年相互の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学年にわたって習得すべき知識や技能を反復的に習得、活用することで螺旋的に学習でき、各領域の学習が6年間の同時期に位置付けられている点等がよく配慮されている。</li> <li>・単元の初めには、「確かめよう」で既習事項に立ち返る場を位置付け、系統的に学習できるようによく配慮がされている。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名（言語活動）が具体的で、児童がその単元で身に付けていくべき力に対して見通しがもちやすいようによく配慮されている。</li> <li>・学習過程に対話的な活動を多く位置付けることで、主体的・対話的な学びを生み出し、児童一人一人が深い学びをできるような配慮が十分になされている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通じて、「季節の言葉」という日本の四季に関わる言語に触れることができるようによく配慮されている。また、発達の段階に応じて、「昔話」、「ことわざ」、「方言」そして「狂言」など日本の伝統言語文化について学ぶようによく配慮されている。</li> </ul>
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、「話すこと・聞くこと」の単元では、二次元コードで読み取り、具体的な活動の様子を動画で確認することができるような工夫がよくなされている。また、デジタル教科書も充実しており、教師が指導しやすいようによく工夫されている。</li> </ul>
	(3)多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生「ランドセルは海をこえて」では、アフガニスタンの学校事情について知り、世界に目を向ける場として工夫されている。また、5年生「みんなが過ごしやすい町へ」では、バリアフリーの観点から自分の住む町について見つめ直すよう配慮されている。</li> </ul>
3	(1)教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4年生は上と下の分冊、5・6年生は合冊となっており、特に5・6年生は、1年間の学びを一冊で確認できるような配慮がよくなされている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の上（P. 85）まで分かち書きがされており、言葉のまとまりを低学年時に意識させていくという点でよく配慮がなされている。また、挿絵も大きく、児童の関心を強くもたせるような工夫がよくなされている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末に「大切」として、単元で身に付けた力が明記してあり、さらに「生かそう」で活用を促すことで、習得から活用までの流れが児童の目線ではっきりと分かるようによく工夫されている。また、6年間で学習する漢字の読み方や部首なども確認できるようになっている。</li> </ul>

教 科
国語

種 目
国語

## 意見書

発行者
東京書籍

	着眼点	意 見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」）を確実にかつバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元で身に付けたい力が「言葉の力」として、単元冒頭と単元末に明確に示されている。どの学年も、付けたい力を明確にした単元の設定に配慮されている。</li> <li>全国学力状況調査の結果より、力が弱かった複数の情報を関連付ける教材や言語（修飾語・敬語など）の練習教材が意図的に位置づけられ、言葉の力を付けられるようよく配慮してある。</li> </ul>
	(2)学年間及び学年相互の関連、系統性と汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの単元に既習事項と関連付けて「言葉の力」が明記しており、言葉の力の系統性がはっきりしている。また、学年内・学年間で螺旋的・反復的な学習が考えられている。</li> <li>巻末に「言葉の力」がまとめられており、どのように学習が積み重ねられているかがよく分かる。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元に設けた「つかむ 取り組む ふり返る」の3ステップで単元の力を明確につけられるようよく考えられている。また、言語活動を明示することで、主体的・対話的な深い学びができるようよく配慮されている。</li> <li>単元末に「生かそう」が位置づけられ、学習したことを生活や学習のいろいろな場面で生かすことができるようよく配慮されている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔話や郷土料理、町おこしなど、地域と関わる・地域を調べる教材が多く、自分たちの身近なことで考えられる題材が設定してある。自分たちの町を考えたり、見直したりするきっかけとなる。</li> </ul>
	(2)ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツで、つまずきポイントの練習教材を、児童自ら学習できるようになっている。D マークが示されており、利用するタイミングが分かりやすい。</li> </ul>
	(3)多文化共生やバリアフリー等今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生、バリアフリー、防災など、現代社会の課題を考える単元・教材が多い。また、自己肯定感を育む教材や人とのつながりに目を向けさせる教材を扱うなど配慮がある。</li> </ul>
3	(1)教科書の仕様、厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>高学年は年間1冊にまとめられており、1年を通して学習する内容が分かるよう配慮されている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の文字への導入が丁寧で、スモールステップを考慮してある。また、困り感をもつ児童に対して、視覚や聴覚に訴えて、学習できるような頁が多く、よく配慮されている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に国語の用語と既習事項の解説のまとめがしてあり、分かりやすい。また、各単元に「言葉の力」「覚えているかな」「生かそう」が明記しており、年間を通して学習の仕方が分かりやすいよう配慮されている。</li> <li>6年間で習う漢字は、使い方まで掲載されており、児童にとって活用しやすいようよく工夫されている。</li> </ul>